

志小安全・防災だより



R元.10.28 NO.25
安全・防災担当:早坂 潤

仔犬を背負った子どもの写真が載っていた新聞記事から

ネット上に昭和初期の写真で、仔犬を背負った幼子の写真が載せてあったので何の記事かと思ったら、昭和28年に京都南部で発生した水害時に家族を5人も亡くしてしまった少年の写真でした。幼児は「マーちゃん」と呼ばれており、水害後に仔犬をつれながら歩いていたときの写真が今回掲載されたものだということです。こちらの町では、町史に当時の様子を語り継いでいくためにいろいろな人から情報を集めており、この「マーちゃん」と呼ばれていた方の行方も捜しているそうです。この水害は、「南山城水害（みなみやましるすいがい）」と呼ばれ、日本がまだ戦後の復興期にあった昭和28年の8月に発生しました。京都府南部から滋賀県南部、三重県西部を豪雨が襲い洪水や土石流の発生で大災害になったそうです。この災害発生の背景には、戦後の食料不足を補うための開墾や、燃料資源の採取によって山地が荒れたことも原因と言われています。この記事には、過去の災害を知ることで今後予測される災害への対応方法について関心をもつことの重要性が語られていました。自分たちが住んでいる場所は、昔はどのような土地であったのかを知っておくことも大切であることを改めて感じました。



犬の名前はポチ

3年生、ルールを守って安全な歩行ができました

載せるのが遅くなってしまいましたが、3年生の子どもたちは、先月26日にウジエスーパーへ校外学習に出かけました。歩道の歩き方、横断歩道の渡り方などしっかりルールが守られており、一人一人が担任の菅原先生や齋藤先生から話されたことをしっかり聞いていたようです。私は、ウジエスーパー前の信号機の近くに立って、子どもたちが坂を下ってくるのを見ていましたが、列を乱さず2列でしっかりと歩いてくる姿がすばらしかったです。11月19日（火）に2回目の徒歩による下校指導を行う予定です。徒歩での下校指導を行う地区を6月に実施したときよりも増やす予定です。現在、実施可能な地区とどこを通ったらより安全かを検討中ですので、はっきりした段階でお知らせいたします。



交通事故の発生率が高くなる時期です

先日、宮城県警の方より、10月から12月の間がこれまでのデータ上、交通事故の発生率が高いことを教えていただきました。交通事故は下校時に多く、小学生は低学年児童の下校時の飛び出しによる事故、中学生は自転車による事故が多くなるそうです。寒い季節に入ること、年末が近づくとつれ何かと忙しくなってくるのが原因ではないかと話しておりました。学校でもその都度子どもたちへの交通事故防止に努めていきます。